

平成 25 年度
運営に関する計画
(最終評価)

平成 26 年 3 月

大阪市立上福島小学校

大阪市立上福島小学校 平成25年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

最終評価 名前()

1 学校運営の中期目標

たくましく、心豊かに、実行力のある児童の育成を図る。

知…自ら深く考える子

徳…明るく思いやりのある子、認め合い支えあう子

体…ねばり強く、たくましい子

2 中期目標の達成に向けた年度目標

特色ある学校づくりを組織的に進め、活力のある学校にする。

【視点 学力の向上】

基礎的な・基本的な学力を高め、自ら進んで学ぶ子どもを育てる。

【視点 道徳心・社会性の育成】

豊かに感じて判断し、相手の立場を考えて行動する子どもを育てる。

【視点 健康・体力の向上】

健康に関心を持ち、望ましい基本的な生活習慣を自ら実践できる子どもを育てる。

【視点 学校・家庭・地域との連携の推進】

学校・家庭・地域とのかかわりを深める。

3 最終評価の総括

各目標別視点項目においての年度目標達成状況を踏まえ、次年度の重点取組内容を次のように設定する。

- ・習熟度別少人数授業をさらに充実させ、さらなる基礎的・基本的学力の向上を図る。
- ・道徳教育のさらなる推進。
- ・食育を中心とした健康教育のさらなる推進。

大阪市立上福島小学校 平成 25 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）
最終評価

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【視点 学力の向上】 基礎的・基本的な学力を高め、自ら進んで学ぶ子どもを育てる。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【各教科】 子ども自ら学習課題を解決することができるよう指導をする。 指標 本校教育アンケート「課題を意識して、進んで調べたり、考えたり、観察・見学したりしている。」の肯定的な割合を昨年度より上げる。保護者 78%⇒82% 児童 69%⇒74%⇒70%	B
取組内容②【言語力や論理的思考力の育成】 授業や学校生活の様々な場面で、しっかり聞いて発表させる。 指標 本校教育アンケート「人の話をしっかり聞き、みんなの前で発表している。」の肯定的な割合を昨年度より上げる。児童 69%⇒72%⇒63%	B
取組内容③【国語、算数】 漢字や計算の力を伸ばす。 指標 本校教育アンケート「音読や漢字、計算をほとんど毎日練習している。」の肯定的な割合を昨年度より上げる。上福タイムを活用する。保護者 76%⇒84% 児童 67%⇒73%⇒74%	A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
① 明確な課題を設定したり、児童の問題意識・目的意識を大切にしたりすることで、児童は課題解決に意欲的に取り組むようになった。また課題解決の学習の仕方にも慣れてきた。そして習熟度少人数指導や教育活動支援員により、個に応じたきめ細かな指導が進められている。
② 返事やうなづきなどの聞き方や、話し手に対して自分の感想を言ったり質問したりする応答的な対応の指導を心がけてきた。その結果、人の話をよく聞き、積極的に発表する児童は増えてきた。一方、「しっかり」聞く、「自分から」発表するということには至っていない児童もいる。
③ 家庭学習や上福タイムで、プリントなどの活用も図り、継続的に指導しているので、音読や漢字、計算を学習する習慣はついてきており、その力も伸びている。

来年度への改善点
① 教材研究を更に深め、児童の学習意欲を引き出す課題設定とする。学習のまとめでの、自己評価の仕方を工夫し、児童に達成感を味わわせるようにする。
② 今後も、話し手に対して、返事をしたりうなづいたり、自分の感想を言ったり質問したりする応答的な対応ができるよう指導を続ける。
③ 引き続き、丁寧に正確に音読、漢字を書くこと、計算ができるように、粘り強く指導する。

大阪市立上福島小学校 平成 25 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）
最終評価

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【視点 道徳心・社会性の育成】 豊かに感じて判断し、相手の立場を考えて行動する子どもを育てる。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【道徳教育の推進】 相手の立場を考えて、行動することができる。 指標 本校教育アンケート「友だちに、やさしいことばをかけたり、親切にしたりするよう心がけている。」の肯定的な割合を昨年度より上げる。 児童 80%⇒73%⇒79%	B
取組内容②【道徳教育の推進】 進んであいさつや返事をすることができる。 指標 本校教育アンケート「すすんで元気よくあいさつをしている。」の肯定的な割合を昨年度より上げる。 児童 84%⇒75%⇒76%	B
取組内容③【その他】 物を大切にできる。 指標 落し物（持ち主不明）の数を減らす。本校教育アンケート「学校のものを大切に使っている。」の肯定的な割合を昨年度より上げる。 児童 88%⇒89%⇒86%	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
① 全校美術館鑑賞、上福ふれあいまつり、縦割り清掃など、縦割り活動では、高学年は低学年の世話をしっかりとっている。また、道徳の授業や日々の生活の中で、友だちのことを考えて優しい言葉をかけたり、親切にしたりすることの大切さはわかり、相手を思いやる姿や言動がみられるようになってきた。
② 挨拶をしようという意識は高まってきたが、実践につながっていない児童もいる。登校時の挨拶に元気のない児童が気になる。
③ 記名の日の設定で、自分の持ち物に名前を書き大切にするようになってきた。落し物自体が減ってきていているだけでなく、落し物をそのまま見過ごさず届けにくる児童が多く、物を大切にする意識が高まっていると感じる。
来年度への改善点

① 相手の立場を考えて行動することができるよう、道徳教育や人権教育の取り組みを継続して行うことが必要。
② 看護当番は、児童の朝のあいさつ指導を中心に行う。
③ 引き続き記名の日の取り組みを進めるとともに、持ち物の整理整頓にも心がけるようにする。

大阪市立上福島小学校 平成25年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

最終評価

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【視点 健康・体力の向上】 健康に関心を持ち、望ましい基本的な生活習慣を自ら実践できる子どもを育てる。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【健康な生活習慣の確立】 規則正しい生活を心がける。 指標 本校教育アンケート「家では、早寝、早起き、朝ごはんを心がけている。」の肯定的な割合を昨年度より上げる。	C
取組内容②【体力向上への支援】 自分の体力を知り、さまざまな運動に取り組む。 指標 本校教育アンケート「外で元気よく遊んでいる。」の肯定的な割合を昨年度より上げる。	A
取組内容③【食育】 教育活動全体を通して、食育を推進する。 指標 本校教育アンケート「食べ物が健康に大事だと感じている。」の肯定的な割合を維持していく。	A
取組内容④【食育】 収穫を喜び合い、自然の恵みに感謝することができる。 指標 本校教育アンケート「身の回りの自然に興味をもっている。」の肯定的な割合を昨年度より上げる。すすんで栽培活動に取り組むことができる。	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- 保健だより、食育通信、生活ふり返りシートの活用をはじめ、様々な取り組みや啓発、声かけにより、「早寝・早起き・朝ごはん・排便」を意識し、生活するようになってきた。
- 運動委員会の呼びかけやかけ足大会に向けて練習、ジャンピングボードを使ったなわとび、学級の「みんな遊び」、体育のがんばりカード等の取り組みのおかげで寒い季節でも外で元気に遊ぶことができていた。
- 毎日の給食や食育通信、給食・食育だよりの活用、各教科と関連した食育の実践を通して、食べ物が健康に大切だということが分かってきた。
- 上福なかよし畑や学習園での野菜の栽培や収穫、校庭の果樹の収穫や試食等を通して、身の回りの自然に興味をもち、自然の恵みに感謝する気持ちが育ってきた。

来年度への改善点

- さらに意識が高まるよう、生活ふり返りシートの活用を見直しながら、継続的に様々な取り組みを行い指導していく。保護者への啓発も引き続き行い、連携していく。
- 1年を通して、外で元気に遊ぶ姿が見られるよう、引き続き様々な取り組みをすすめていく。
- ④ 今後も地道に食育活動を継続していく。

(様式例 2)

大阪市立上福島小学校 平成 25 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）
最終評価

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【視点 学校・家庭・地域との連携の推進】 学校・家庭・地域とのかかわりを深める。	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【家庭・地域との連携】 学校行事の公開や、絵手紙づくり・花植え・茶道体験など地域の方々との体験活動、ミニスポーツ大会・もちつき大会などPTA行事、ソフト・キック・和太鼓など地域の活動を通して、「上福の子」を育む。	A
指標 本校教育アンケート（保護者）「学校は、PTAや地域の方々と協力し、子どもを育てようとしている。」の肯定的な割合を維持していく。 保護者 92%⇒94%⇒95%	
取組内容②【学校評価】 自己評価・教育アンケート・学校関係者評価など学校評価結果をもとに、学校運営の改善に取り組む。	B
指標 よりよい「上福島小学校」にするため、校内体制を整え、具体的に改善に取り組む。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
① 学習参観・懇談、地域の方とのふれあい活動（絵手紙、花植え、お茶を楽しむ会）、土曜授業（防災訓練・学習発表会・上福ふれあい祭り）、PTA行事（もちつき大会・親子集会・親子クッキング）、地域行事（子ども文化祭、キック・ソフト）などの活動を通して、児童は、家の方や地域の方々に支えられていることを実感していることができている。また、日々の学校教育活動や児童のすがた、学校行事やPTA行事、地域行事などの様子を、ホームページ（学校日記、毎日食育通信、学校だより、保健だより、学校評価、事務室通信）により、タイムリーにスピーディーに発信し、保護者や地域の方々に知らせている。その結果、「上福地域 総がかり」の教育が進められている。 ② 学校評価をもとに教育活動を振り返り、児童にとって良い学校となるよう心掛けている。 例. 後期、「すすんで元気にあいさつができる」よう、今まで以上に、登校時に職員から児童に声掛けをした。

来年度への改善点
① 連絡帳・電話・家庭訪問などにより、児童の様子について家の方と連絡を取り合うことを、これからも大事にしたい。土曜授業や体験活動の内容について検討する。
② 職員のチームワークを高め、発揮する。